

PA
1091
1998
(119)

平成 10 年度博士論文

音韻障害を併せ持つ吃音児の特徴
～協調運動発達を中心に～

Characteristics of children with stuttering and phonological disorder

～From the point of view of development of general coordinative movements～

筑波大学心身障害学研究所

小林 宏明

寄	贈
	平成
	年
	月
	日

目次

序論

第1章	吃音の下位分類の存在と鑑別診断	7
第1節	Van Riper の吃音の4つのトラック(軌跡)	7
第2節	吃音の鑑別診断・治療(指導)モデル	10
第2章	音韻障害を併せ持つ吃音児の存在とその特徴について検討した研究の概観	23
第1節	吃音の下位群の1つとしての音韻障害を併せ持つ吃音児の存在の示唆	23
第2節	音韻障害を併せ持つ吃音児を吃音児内の下位分類として捉える知見	26
第3項	音韻障害を併せ持つ吃音児について検討を加える際に必要となると思われる観点	29
第3章	第3章 吃音児や音韻障害児の運動制御能力についての検討	31
第1節	吃音児と非吃音児間の運動制御能力の比較に焦点をあてた研究	31
第2節	吃音児、音韻障害児、非吃音・非音韻障害児間の運動制御能力の比較に焦点をあてた研究	34
第3節	音韻障害児内に下位群を想定し、それらの間の運動制御能力の比較に焦点をあてた研究	35
第4節	Webster の Interhemispheric Interference Model (I.I.M.) の枠組み	37

本論

研究の目的	44
論文の構成	45

第1部 音韻障害を併せ持つ吃音幼児のアセスメント及び指導経過における特徴の検討

第1章	目的	48
第2章	研究1 発吃1年未満の音韻障害を併せ持つ吃音児の非流暢生発話・音韻過程の特徴	
第1節	目的	49
第2節	対象児	50

第3節	方法	53
第4節	結果	64
第5節	考察	69
第3章	研究2 発吃1年未満の音韻障害を併せ持つ吃音児の発達スクリーニング検査の結果の検討	
第1節	目的	71
第2節	対象児	71
第3節	方法	72
第4節	結果	77
第5節	考察	81
第4章	研究3 音韻障害を併せ持つ吃音児の非流暢性発話・音韻過程・発達スクリーニング検査の結果の継時的変化の特徴	
第1節	目的	83
第2節	対象児	83
第3節	方法	85
第4節	結果	87
第5節	考察	93
第5章	研究4 音韻障害を併せ持つ吃音児の治療過程の継時的追跡 I: U仮説に基づく検討	
第1節	目的	94
第2節	対象児	95
第3節	指導の目的、枠組み及び方法	112
第4節	指導経過	118
第5節	考察	173
第6章	第1部総合考察	
第1節	第一部のまとめ	178

第2節 今後の課題と第2部の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183

第2部 音韻障害を併せ持つ吃音児の協調運動発達の特徴

第1章 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 186

第2章 研究5 音韻障害を併せ持つ吃音児の協調運動発達の特徴Ⅰ：連続的な運動表出能力の測定

第1節 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 187
第2節 対象児・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 188
第3節 方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 201
第4節 結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 214
第5節 考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 230

第3章 研究6 音韻障害を併せ持つ吃音児の協調運動発達の特徴Ⅱ：新規な運動表出能力の測定

第1節 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 233
第2節 対象児・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 233
第3節 方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 234
第4節 結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 243
第5節 考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 301

第4章 研究7 音韻障害を併せ持つ吃音児の協調運動発達の特徴Ⅲ：大脳半球間の干渉に対する反応の測定

第1節 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 306
第2節 対象児・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 306
第3節 方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 307
第4節 結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 315
第5節 考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 350

第5章 研究8 吃+音児に対する治療過程の継時的追跡Ⅱ：協調運動スキルに焦点をあてた指導

第1節 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 354
第2節 対象児・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 355
第3節 方法（指導方針）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 374
第4節 指導経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 389
第5節 考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 423

第6章 第2部総合考察

第1節 実験的研究について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 430
第2節 本研究の臨床への応用について・・・・・・・・・・・・・・ 441
第3節 今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 443

結論・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 446

文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 459

謝辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 466